

COLUMBUS

# PRODUCT DATA

May, 2018

## 切り口用着色仕上剤

| 品名                | 特徴                                                        |
|-------------------|-----------------------------------------------------------|
| サーマルコート S<br>SG   | 切り口用着色仕上剤の標準タイプで多くの素材に対応。<br>SG → サーマルコートSの高粘度タイプ。        |
| サーマルコート MS<br>MSG | MS → サーマルコートS のマットタイプ。<br>MSG → サーマルコートSG のマットタイプ。        |
| サーマルコート E<br>T    | E → サーマルコートS の半マットタイプ。<br>T → サーマルコートSの浸透タイプ(アルコール含有)     |
| NTコート             | 塗膜の柔軟なタイプで、特に柔らかな素材に最適。<br>NTコートM → NTコートのマットタイプ。         |
| TMコート             | 着色剤にメタリック顔料を使用したタイプ。<br>下地を黒などの濃色にすると効果的に発色します。           |
| フレッシュコート          | 着色剤に蛍光顔料を使用したタイプ。<br>下地を白などの明色にすると効果的に発色します。              |
| ファインコート           | 特殊ナノ顔料を使用し、透明感のある発色をするタイプ。<br>下地に無色を使用し厚みを持たせると効果的に発色します。 |
| スプレッドコート          | 粘性と伸張性があり、高いゴム弾性を持つタイプ。<br>物性強化の為、上塗り仕上剤をご使用下さい。          |
| シルキーマットコート        | 柔軟性があり、高いツヤ消し性を持つタイプ。<br>着色剤やツヤ消し剤の分散性も良く、作業性良好。          |
| エナメルエッジコート        | 特殊な顔料を使用したエナメル革用切り口着色仕上剤。<br>淡色素材で起こりやすい仕上剤からの色移行を抑えます。   |

### 【使用方法及び使用上の注意】

- ・ サーマルコートなどの切り口着色仕上剤はハケや布、またはフェルトやコバ塗り機などで塗り込んで下さい。
- ・ 着色剤やツヤ消し成分が沈降しますので必ず良く攪拌して色を均一にしてからご使用下さい。
- ・ 重ね塗りをして仕上膜が厚くなり過ぎますと、素材によってはワレを生じる場合がありますのでご注意下さい。
- ・ 低温下でのご使用は造膜しないことがあります。
- ・ 同じ切り口着色仕上剤同士は混合できますが、他の切り口着色仕上剤との混合は固まるなど物性に問題が出ますので出来ません。
- ・ 『目止め液 #328』など下塗り仕上剤の代わりに、フノリやCMCなどは使用しないで下さい。弊社切り口用仕上剤とは密着しません。
- ・ 使用状況によっては十分な効果が得られない場合があります。事前に仕上げテストを行い、必ず物性をご確認下さい。
- ・ 換気の良い所で作業を行い、防護メガネ、マスク、保護手袋などを使用して下さい。
- ・ 変質を避けるため一度容器から出した液は、元の容器に戻さないで下さい。
- ・ 切り口用着色仕上剤は仕上膜の硬さ・光沢・仕上剤の粘度などで色々なタイプがありますので、素材や仕上がり感に合わせてお選び下さい。

※素材の状態や作業条件など使用状況によっては十分な効果が得られない場合があります。事前に必ず仕上げテストを行いご確認ください。

ここに提供する情報は、弊社で信頼できると信じる資料に基づくものです。一旦、顧客の皆様の手に渡った弊社製品については、その使用条件・方法などの管理ができませんので、弊社では責任を負いかねます。  
クレーム防止のため、仕上げ後の商品に対する検査および物性などは、責任をもってご確認ください。  
詳細が必要な場合には、安全データシート（SDS）をご確認下さい。

東京：〒111-8610 東京都台東区寿4-16-7

TEL：03-3844-7117

FAX：03-3843-1277

大阪：〒550-0003 大阪市西区京町堀2-13-6

TEL：06-6448-7814

FAX：06-6448-7791

担当